



毎年9月1日は、台風や地震、津波などの自然災害について認識を深め、災害への準備をする「防災の日」です。災害への備えを充実させることで、二次災害等を未然に防ぎ、被害を減らしましょう。今回は、「家庭で簡単にできる防災の取り組み」についてご紹介します。この機会に、もう一度ご家庭の防災対策を見直してみてもいかがでしょうか。

### ●避難先や連絡先の把握

災害に備えて家族と話し合い、いざというときはどこに集まるのか、どこに連絡すればよいのかを確認しましょう。また、日ごろから地域の防災訓練に参加しておく、避難所や避難方法が分かり安心です。



### ●情報の入手

村から無償で借りることができる防災行政無線戸別受信機(防災ラジオ)はきちんと放送を受信し

ていますか？ また、スマートフォンなどを使用している方は、村公式ツイッターやフェイスブックはもちろん、7月から配信が始まった村公式アプリケーション「こちら東海村」もぜひご利用ください。



### ●物資の備蓄・安全の確保など

日持ちのする食べ物や飲料水を備蓄したり、L字金具や突っ張り棒を使って家具を固定したりし、災害に備えておくことが大切です。また、日ごろから、隣近所の方とコミュニケーションをとり、いざというときに、助け合えるつながりを構築しておくことも大切です。



### 【問い合わせ】

防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当 ☎ 282-1711 内線1524)

# 文芸とうかい

## 〔俳句〕



大花火見果てぬ闇に挑みけり  
南台 渋谷ひろし

おどろきの蝉鳴くときは濁音で  
村松 松本 正勝

笹舟や夢をみちづれ明日へこご  
豊白 中島エミ子

昭和歌謡流るる朝の終戦日  
豊白 小林 久男

在りし日の得意げの顔夏帽子  
緑ヶ丘 田中ミヤ子

不意打ちのこむら返りや昼寝覚む  
村松北 小野寺紀夫

まつ直ぐもおじぎも背なり墓詣  
村松 大内たけみつ

## 〔短歌〕

七夕に宇宙へと夢乗せてステーションでの成  
功祈る  
照沼 佐藤 昇



昼すぎのつづら坂越え山間の空屋のふえし産土に  
来し  
内宿 村上 文江

白百合が繁みの中に咲く見えて面影  
偲ぶ盆近づきぬ  
外宿 小林美代子

夏休み海にプールと待ち待ちし風の冷たく行けず子の泣く  
内宿 三浦 充宏

庭隅に連なり熟れるミニトマトひとつ食べれば日向の味す  
須和間 柴山 靖子

蝉しぐれ聞くこともなく盆に入り蝶も蜻蛉も少なくなりしか  
緑ヶ丘 佐藤 正

人生は短きものよ九十の吾も二十の軍属なりき  
駅 村上より子

鎮魂の祈りとどくか満州の地非命に倒れし人多く見し  
白方中央 篠崎 正卓

蝉の羽よるよろはこぶアリのいて蟻の一穴はねをどうする  
豊白 梅津 秀雄



## 「文芸とうかい」作品(俳句・短歌)募集

対象 ▼村内在住の方 ※お子さんから高齢の方まで、幅広い世代の方の作品をお待ちしています。

応募方法 ▼作品▽氏名▽住所——を明記の上、郵送または電子メールで応募してください。

その他 ▼必要に応じて選歌・添削をする場合があります。あらかじめご了承ください。

申し込み・問い合わせ ▼広報広聴課情報発信担当 (〒319-1192 東海3-7-1 ☎282-1711 内線1305 ✉kouhou@vill.tokai.ibaraki.jp)